(社)郡山医師会　郡山市医療介護病院広報誌

ビッグハート BigHeart

第11号
発行　平成24年１月

郡山市字上亀田１番地の１
024-934-1240
郡山市医療介護病院
広報委員会　発行

巻頭言

院長　原　寿夫

新年明けましておめでとうございます。昨年は東日本大震災による多岐にわたる課題に追われた日々でしたが、その経験を活かし、市民に求められる医療と介護、さらには現在の制度では対応の困難な方々に対しても、私たちにできることが何かないか勉強する必要性を感じました。

今年は、当院の西隣に看護学校の建設が始まり、一年後の平成二十五年四月に開校予定です。この学校は、明治の頃に感染症が蔓延した際、地域医療を担う看護婦養成の必要性を強く感じた当時の医師会が明治四十五年四月に開校した「安積産婆看護婦養成所」が母体となり、現在の「郡山高等厚生学院」へと引き継がれ百年の歴史ある学校です。

来年の開校時には、現在の准看護師コース（一学年八十名・二年）に加えて准看護師から看護師への移行コース（一学年四十名・二年）が新たに設けられます。

当院は、実習病院として等様々な協力をしていく予定でいます。特に、当院はその名のとおり医療と介護をつなぐ病院であることから、『様々な病気で障害を持たれた方の、その方なりの生活スタイルを再構築する手助けをしたい。』と、思いたくなる看護師がより多く育っていただけることを期待しています。そのためには、専門的な知識や技術に加えてコミュニケーション能力がとても大切であり、その前段として考えを伝えるプレゼンテーション能力が極めて重要です。

地域における多職種の連携が求められている今日、看護職に限らず、より優れたコミュニケーション能力を身に付けることが私たちに求められていると感じています。今年も宜しくお願いいたします。